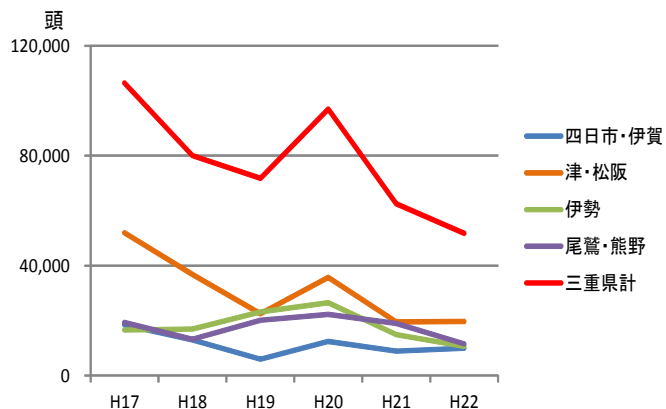
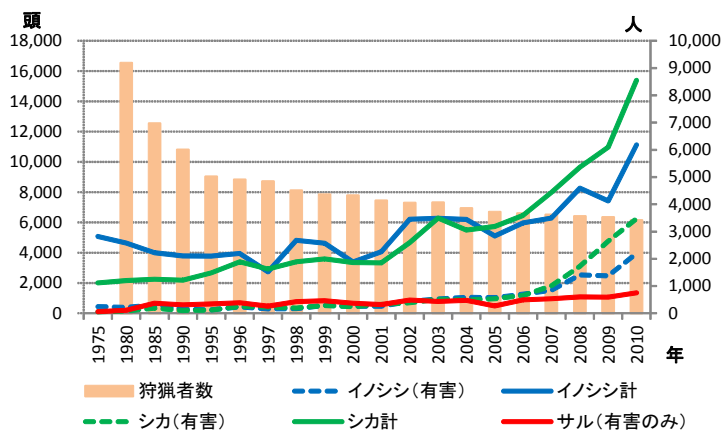


獣害対策研究

三重県における加害獣の生息状況

県内の加害獣の生息状況や捕獲の状況等を整理しました



狩猟者と捕獲頭数の推移

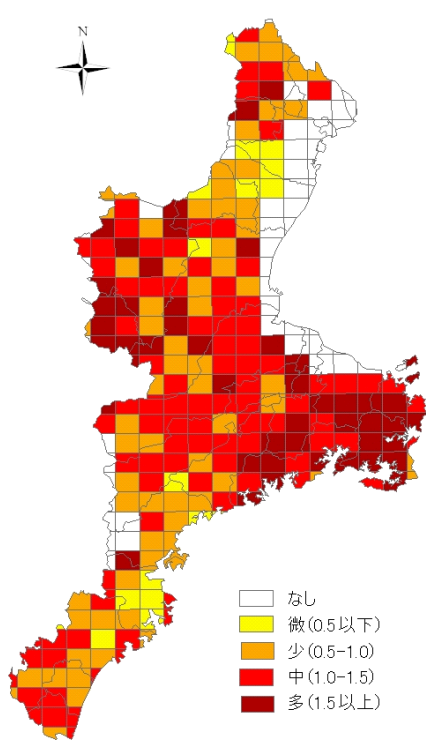
※三重県獣害対策課調べ

狩猟者数は減少していますが、捕獲数は増加しています。特にシカの捕獲数は2005年頃から増加しており、全体的な頭数の低減に貢献しています。

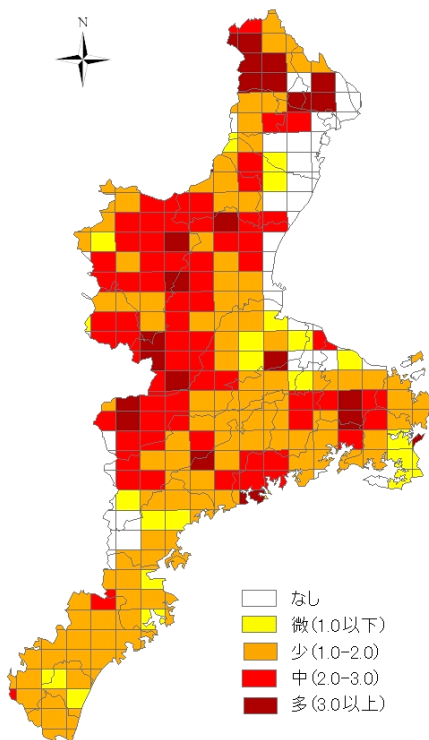
近年のシカの生息数の推移

※三重県獣害対策課シカ糞粒調査より

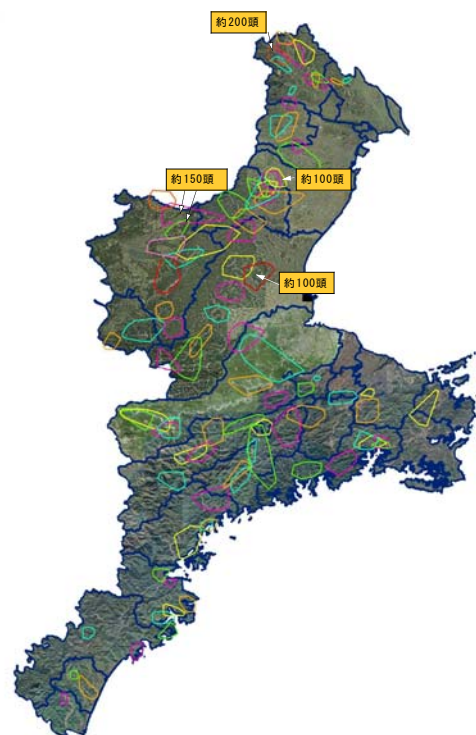
捕獲数の増加により、推定生息頭数は近年減少傾向にあります。



イノシシの目撃効率 (H17-H20平均)



シカの目撃効率 (H17-H20平均)



サル群の分布と頭数が多い群れの状況

イノシシとシカの目撃効率と、サル群の分布や頭数の状況

※イノシシ、シカは三重県出猟報告書、サルは三重県、市町、NPOの調査結果を総合して作成

イノシシは伊賀地域から志摩半島にかけて、シカは鈴鹿山脈から大台山系が密度が高いと推測できます。これらの地域では農作物被害も多くなっており、集中的な捕獲や被害対策が必要と考えられます。サルについては、三重県内には100群前後の群れがあると考えられ、特に農地が多い地域では、群れの頭数も多い傾向があります。